

FISC 調査報告会 開催のご案内

当センターにて、1月に公表いたしました調査研究レポートについて報告させていただきます。
皆さまのご参加お待ちしております。

記

1. 日時： **2026年2月25日（水） 15:00～16:50**（オンラインライブセミナー Webex Webinars）

 翌日以降アーカイブ配信

※アーカイブ配信のみ視聴の場合もお申込みが必要です。視聴用PWをセミナー終了後、送付します

2. 受講料：FISC 会員及び子会社の役職員 無料、一般 1,000 円、教育機関 500 円（消費税込）
3. 申込方法：当センターホームページ（<https://www.fisc.or.jp>）からお申込みください
お申込み後、当日午前中までに Webex より招待メールを送付させていただきます
4. 申込締切：2月18日（水）12時迄
5. プログラム：講演後、質疑応答含む

➤ **FISC ニュース** 当センターの調査研究活動についてご説明いたします（5分）

➤ **金融機関における全社員の IT リテラシー向上の取組み（35分）**

講師：調査部 主任研究員 川原 功

社会全体のデジタル化の進展に伴い、金融機関における DX やサイバーセキュリティ確保の重要性が高まるなか、専門人材を確保・育成するのみならず、全社員を対象とした IT リテラシー向上の取組みも求められるようになってきている。本講演では、幅広い業態の金融機関への取材をもとに、全社員の IT リテラシー向上の目的について、情報セキュリティ確保、社内のデジタル化による業務効率化、顧客企業の DX 支援の 3 つに大きく集約されることを述べる。そのうえで、その具体的な取組内容、課題認識を整理して紹介するとともに、これらを踏まえ、今後求められる対応について考察を述べる。

➤ **金融機関の QR コード決済サービス提供におけるリスク管理態勢の動向（30分）**

講師：調査部 研究員 田淵 冴子

QR コード決済サービスが広く利用されるなか、不正利用事件の発生も踏まえると、サービス提供者には不正利用を防止するためのリスク管理態勢の整備が求められている。本講演では、金融機関が独自に運営する QR コード決済サービスを中心として実施した取材に基づき、本人確認、不正取引モニタリング態勢強化の余地や、サードパーティリスク管理における望ましい対応について説明する。また、こうしたリスク管理態勢強化の余地は、資金移動業者等が金融機関と連携して提供する QR コード決済サービスにも該当することを述べる。

➤ **金融機関における AI 活用とガバナンスの現状 (40 分)**

講師：企画部 主任研究員 市川 恭子

金融業界では AI 導入が急速に進み、実証実験から実運用へと活用が拡大しており、AI 特有のリスクを踏まえたガバナンスの重要性が高まっている。特に生成 AI は確率的な推論に基づいて動作するため、不確実性や誤情報といった特有のリスクを内包しており、適切なガバナンスの構築が重要である。本講演では、金融機関の取組事例を紹介するとともに、AI の学習段階、入力段階、出力段階の 3 つに分けて整理し、それぞれに潜むリスクの特徴とガバナンスの考え方について解説する。

【ご連絡】 調査レポートの内容説明後、質疑応答の時間を設けます。事前に質問がある場合は、以下メールアドレス宛にご連絡ください。

■ 問合せ先 ■ 公益財団法人 金融情報システムセンター (FISC) 研修センター 中山

E-mail : houmon@fisc.or.jp

TEL : 03-5542-6078